

第1回定例会

(可決した議案など)

- 平成31年度予算
本誌2~5ページで紹介しています。
- 平成30年度一般会計補正予算
主に、次の内容で総額72億7,700万円を補正するものです。
 - ・道路等災害復旧費
 - ・学校改築費
 - ・避難場所開設運営補填費
 - ・安全・安心な公園再整備費
 - ・道路除雪費
- 統計不正問題の原因究明と早期解決を求める意見書
など、合計71件の議案などを可決しました。

委員会の主な活動状況

(2/11~3/10)

総務委員会

札幌市災害廃棄物処理計画(案)および駒岡清掃工場更新事業実施方針について環境局から説明を受け、質疑を行いました。(2/21)

財政市民委員会

札幌市市民まちづくり活動促進基本計画(第3期)(案)および札幌市文化芸術基本計画(第3期)(案)について市民文化局から説明を受け、質疑を行いました。(2/21)

文教委員会

「学童保育をなくさないための要綱改定を求める陳情」の初審査を行い、継続審査としました。(2/21)

厚生委員会

「国民健康保険料引き上げ中止と子どもの均等割保険料減免を求める請願」の初審査を行い継続審査としました。また、「国民健康保険料の引き下げを求める陳情」221件の審査を行い継続審査としました。(2/21)

経済観光委員会

札幌市交通事業経営計画(案)について交通局から、市立札幌病院中期経営計画(2019年度~2024年度)(案)について病院局から説明を受け、質疑を行いました。(2/21)

第一部・第二部予算特別委員会

副委員長の互選、理事制の設置、審査日程などを決定しました。(2/20)
平成31年度の予算を審査しました。(2/25~3/5)

■編集 札幌市議会事務局
政策調査課
☎211-3164 FAX218-5143
■市議会ホームページ
www.city.sapporo.jp/gikai

障がい者の災害時の安心・安全の確保

いしかわ さわこ
石川 佐和子
市民ネットワーク北海道

北海道胆振東部地震の際の課題を検証するため、広く障がい当事者を対象としたアンケートを実施するべきだと考えますが、いかがですか。

◎ 今回の災害を踏まえ、本市では、現在、人工呼吸器などを使用する方を対象としたアンケートの実施に向けて取り組んでいます。また、平成31年度に予定している障がい者プランの見直しに向けた実態調査においても、今回の災害を踏まえた設問を盛り込むなど、引き続き、さまざまな機会を捉えて、幅広く障がい当事者の声の把握に努めていきます。



札幌市奨学金の拡充

なかやま しんいち
中山 真一
札幌校

返済不要の給付型奨学金である札幌市奨学金は受給者数がこの2年間増えていませんが、その拡充に向け、どのように取り組んでいきますか。

◎ 経済的な理由で修学困難な生徒や学生が安心して学ぶためには、奨学金などによる支援が重要であり、本市では、これまでも高校生の通学にかかる交通費の助成や就学援助などの充実に取り組んできました。札幌市奨学金についても、国の動向を見極めつつ、引き続き、市民や企業に寄付を募るなどして、その拡充を図り、札幌の未来を担う子どもたちを少しでも多く応援していきます。



町内会が設置した防犯カメラ

まつうら ただし
松浦 忠
改革

防犯カメラ設置補助制度により町内会が設置したカメラは、肖像権やプライバシーを侵害するものだと思います。また、市が作成した補助金申請の手引きには、プライバシーへの配慮に関する具体的な記載がされていないと思いますが、いかがですか。

◎ 防犯カメラの設置が、直ちに肖像権やプライバシーを侵害するものではありませんが、補助制度で設置したカメラが個人の権利を侵害することがないように、町内会に丁寧な説明を行うほか、手引きについても必要な見直しを行います。



篠路駅周辺地区のまちづくり

さかもと きょう子
坂本 きょう子
無所属

JR篠路駅周辺地区のまちづくりは、地域が主体となって進められてきた歴史があります。地域の魅力を一層高めていくため、まちづくりの方向性を定めるに当たっては、地域住民の意見を反映させていくことが必要と考えますが、どのように進めていきますか。

◎ まちづくりの方針を検討するに当たっては、地域住民による協議会と有識者による検討委員会を設置するほか、市民アンケート調査など、幅広い意見を踏まえながら、民間活力の導入の可能性などについてしっかりと把握し、都市機能の集積の実現を目指していきます。



育を受ける機会を保障するため重要なものと認識しています。昨年、国から夜間中学の設置推進のため、具体的な運用の基準などが示されたことや、このたび、北海道が設置する「夜間中学等に関する協議会」で、市内への設置について一定の意見集約が図られたことから、本市としても、前向きに検討していきます。



障がい者の採用選考

むくい くにお
浦井 国夫
公明党

本市は、本年度から知的障がいや精神障がいのある方も採用選考の対象としましたが、採用された職員のためにどのような配慮を行いますか。また、知的障がいのある方には、試験方法でも配慮が必要と考えますが、今後の選考方法についてどのように考えていますか。

◎ 障がいのある方には、採用前後の面談により必要な配慮事項などを把握し、職場環境の改善など、できる限りの対応を行っています。また、今後の選考については、本年度の結果を検証の上、国や他自治体の取り組みなども参考にしながら検討していきます。



学童保育に従事する職員の配置基準

むらかみ
村上 ひとし
日本共産党

政府は、学童保育に従事する職員について、おおむね40人以下の児童に対し、職員を2人以上配置するという基準を緩和できるよう閣議決定しました。子どもたちの放課後の健全育成のため、本市は基準を緩和するべきではないと考えますが、いかがですか。

◎ 今回の国の決定は、地域の実情などを踏まえた柔軟な対応を可能とするためのものですが、本市としては、現在の基準を最低基準と位置付けていることや、利用児童数の実態からも、あえて緩和する必要はないと考えています。



市議会の動き

2月8日に招集された第1回定例会の中から、2月18日、19日、20日の代表質問の主な内容や、可決した議案などについてお知らせします。

清田区における交通課題の解消に向けた取り組み

みやむら もとこ
宮村 素子
自由民主党

地下鉄や路面電車といった軌道系交通機関が整備されていない清田区においては、公共交通の中心であるバスの利便性の確保や、主要な幹線道路における渋滞の解消が喫緊の課題となっています。これらの交通課題の解消に向け、どのように取り組めますか。

◎ バスの利便性確保については、バスの現在地をスマートフォンで確認できるシステムの導入によるバス待ち環境の改善や、ノンステップバスの導入を推進しています。渋滞解消に向けては、ドライバーへ渋滞情報を提供するほか、国道36号と厚別東通の交差点の改良を検討するなど、必要な対策を進めていきます。



公立夜間中学の設置

はたせ こうじ
畑瀬 幸二
民主市民連合

さまざまな理由で学ぶ機会を失った方の学ぶ権利を取り戻すため、本市に公立夜間中学を設置するべきだと考えますが、いかがですか。

◎ 公立夜間中学は、十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した方や、日本国籍を有しない方などに、教

